会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回 本庄市交通政策協議会		
開催日時	令和6年5月17日(金)	午前・ 午後 午前・ 午後	1時30分から 4時00分まで
開催場所	本庄市役所 大会議室		
出席者	区 分	職 名	氏 名
	13号委員	早稲田大学 教授	佐々木 邦明
	1号委員	本庄市都市整備部長	齊藤 順一
	2号委員	朝日自動車(株) 運輸部長	田沼 健一
		十王自動車(株) 代表取締役 専務	石倉 実希雄
	3号委員	協同貨物自動車(株) 代表取締役	浅見 禄郎
	4号委員	本庄地区タクシー協議会 会長	神宮 つぐよ
		一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 事務局長	藤田 貢
	6号委員	西今井自治会長	町田 純一
		本庄市老人クラブ連合会 副会長	柳田 信
		本庄商工会議所 総務部長	福島 正洋(代理)
		本庄市身体障害者福祉会 会長	種村 朋文
	7号委員	本庄警察署交通課 課長	荻原 正幸
	8号委員	児玉警察署交通課 課長	坂本 悠人
	9号委員	埼玉県企画財政部交通政策課 主幹	村上 晶彦
	10号委員	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 運輸企画専門官	戸塚 真里江(代理)
11号委員	国土交通省関東地方整備局建政部 都市調整官	原田 英之	
12号委員	国土交通省大宮国道事務所 建設専門 官	保坂 寛之(代理)	
	埼玉県本庄県土整備事務所 道路部長	栗原 龍一	
13号委員	本庄市議会 議員	林 富司	
事務局：長嶋都市整備部次長、武正都市計画課長、山田課長補佐、 菊池主査、廣川主事補			

欠席者	区 分	職 名	氏 名
	2号委員	一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	関根 肇
	3号委員	本庄観光(株)代表取締役	内田 佳憲
	5号委員	朝日自動車労働組合 執行委員長	飯塚 光弘
	6号委員	児玉商工会 副会長	宮部 孝夫
議 題 (次 第)	1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 挨拶 4. 監査委員の選任 5. 報告事項 (1) デマンドバス及びシャトルバスの利用状況の推移 6. 議 事 (1) 令和5年度 事業報告及び歳入歳出決算について (2) 令和6年度 事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について (3) 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る 地域公共交通計画の認定申請(地域内フィーダー系統・地域 間幹線系統)について (4) 今後のスケジュール及び運行にあたって協議・合意が必要な事項 (5) 運賃協議分科会の設置に伴う本庄市交通政策協議会設置要綱の 一部改正について (6) デジタル田園都市国家構想交付金の活用に伴う「本庄市A Iデマ ンドバスシステム導入支援業務 仕様書(案)」の変更について 7. そ の 他 8. 閉 会		
配 付 資 料	令和6年度第1回 本庄市交通政策協議会 資料一式 参考資料		
その他特記事項			
主 管 課	都市計画課		

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (都市計画課長)	<p>定刻になりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>当協議会につきましては、本庄市交通政策協議会設置要綱第6条第5項により、原則として公開により開催することになっております。</p> <p>本日の協議会につきましては、市のホームページで傍聴の御案内いたしましたが、希望者はいらっしゃいませんでしたので御報告させていただきます。</p> <p>なお、会議録につきましては、令和6年2月1日に「本庄市附属機関及び私的諮問機関の取扱いに関する指針」の改定があり、原則として発</p>

	<p>言者の氏名を記載することとなりましたので、御了承ください。</p> <p>皆さまにはお忙しい中、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会進行を務めさせていただきます都市整備部都市計画課長の武正と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>これより、令和6年度第1回本庄市交通政策協議会を開催いたします。</p> <p>今回、委員の改選後、初めての協議会になりますので、会議に先立ちまして、委嘱状の交付を行います。本来、市長が委嘱状の交付を行うところですが、本日、公務により欠席のため、代理で副市長より委嘱状の交付を行います。</p> <p>こちらでお名前をお呼びしますので、呼ばれた方から、その場でお立ちいただきまして、本庄市副市長山下部勝より委嘱状の交付をお受けいただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>なお、設置要綱第3条第2項第1号の規定による「市長又はその指名する者」につきましては、本庄市都市整備部長齊藤順一を指名し、委員に任命しておりますので、御報告させていただきます。</p>
副市長	《委嘱状交付》
事務局 (都市計画課長)	以上で本庄市交通政策協議会委員の委嘱状交付を終了いたします。ここで副市長から一言御挨拶申し上げます。
副市長	(挨拶省略)
事務局 (都市計画課長)	副市長は、公務により、ここで退席させていただきますのでよろしくお願いいたします。
事務局 (都市計画課長)	<p>それでは、これより会議に入りたいと思います。</p> <p>はじめに事務局から会議の成立についての御報告と、配布資料の確認をさせていただきます。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>本日は、初めて本協議会に御出席の方もいらっしゃいますので、「本庄市交通政策協議会設置要綱」を配付資料に付けております。設置要綱第6条第2項に「会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。」と規定しております。</p> <p>本日、出席しております委員は、23名中19名であります。</p> <p>よって、本会議が成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>また、お手元に本日の次第が表紙となっております資料一式、参考資料の2種類と初めて本協議会に御出席の方には「本庄市地域公共交通計画」を配布してございます。資料に過不足や落丁・乱丁等ございましたら、事務局までお申しつけください。</p>
事務局 (都市計画課長)	<p>皆さま資料はお揃いでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、資料の表紙にございます次第に従いまして、進めさせていただきます。設置要綱第5条第1項の規定によりまして、本協議会の会長は、「学識経験を有するもの」があたることとなります。</p> <p>また、設置要綱第6条第1項の規定によりまして、本会議の議長は、会長が務めることとされておりますので、佐々木会長に御挨拶と今後の進行をお願いいたします。</p>
佐々木会長	(挨拶省略)

議 長	<p>会議の運営がスムーズにいきますよう御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、監査委員の選任がございまして、報告事項が1件、そして議事が6件ございます。</p> <p>まず、次第の4「監査委員の選任」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>本協議会の監査委員につきましては、設置要綱第11条第1項の規定により、委員の皆さまから2名の方を、会長が指名することと規定されておりますので、会長から御指名よろしくをお願いいたします。</p>
議 長	<p>監査委員につきましては、本庄市議会議員の林富司様、そして、本日は所用のため代理出席でございますが、本庄商工会議所専務理事の田中一成様をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、続きまして次第の5「報告事項」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (廣川主事補)	<p>《報告事項(1) デマンドバス及びシャトルバスの利用状況の推移》説明</p>
議 長	<p>ただいまの事務局の説明に対して御意見等ありますか。</p>
全委員	<p>(意見等なし)</p>
議 長	<p>御意見が無いようですので、報告事項については終了いたします。</p> <p>それでは、これより次第の6「議事」に入らせていただきます。</p> <p>議事(1)「令和5年度 事業報告及び歳入歳出決算」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>《議事(1) 令和5年度 事業報告》説明</p>
議 長	<p>それでは、「歳入歳出決算」について監査委員の林富司委員から会計監査報告をお願いします。</p>
林委員	<p>令和5年度本庄市交通政策協議会歳入歳出決算について、関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査を実施したところ、計数的に正確であり、内容も適正であることを認めます。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。ただいまの内容について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。</p>
全委員	<p>(意見等なし)</p>
議 長	<p>質問等がございませんので、議事(1)「令和5年度 事業報告及び歳入歳出決算」について、委員の皆さまにお諮りいたします。</p> <p>議事(1)について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。</p>
全委員	<p>(異議なし)</p>
議 長	<p>議事(1)については、異議なしと認め、原案のとおり承認されました。</p> <p>それでは、続きまして、議事(2)「令和6年度 事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>《議事(2) 令和6年度 事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)》説明</p>

議 長	ただいまの事務局の説明について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。
全委員	(意見等なし)
議 長	質問等がございませんので、議事(2)「令和6年度 事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)」について、委員の皆さまにお諮りいたします。 議事(2)について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。
全委員	(異議なし)
議 長	ありがとうございます。 議事(2)については、異議なしと認め、原案のとおり承認されました。それでは、議事(2)につきましては、(案)を消してください。 続きまして、議事(3)「令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の認定申請(地域内フィーダー系統・地域間幹線系統)」について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (菊池主査)	議事(3)「令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の認定申請(地域内フィーダー系統・地域間幹線系統)」について御説明いたします。 22ページ右上に「資料3」と記載しております資料をご覧ください。 22ページにつきましては、「本庄市地域公共交通計画」のうち、地域内フィーダー系統に関する記載箇所を一覧表にしたものでございます。令和4年度に「地域公共交通計画」を策定したため、令和5年度から国へ提出する様式が変更になっております。 「本庄市地域公共交通計画」におけるデマンドバス・シャトルバスといった地域内フィーダー系統の①位置づけ・役割、②必要性、③維持・確保するための事業及び実施主体、④その評価手法等について該当ページに記載するものでございます。 なお、「本庄市地域公共交通計画」の該当ページにつきましては、27ページ以降に添付しております。 続いて、23ページをご覧ください。 項目1の「目的・必要性」では、今後、高齢者や運転免許返納者の増加などにより、公共交通の需要が増加することが予測されていることから、高齢者等を中心に生活に必要なフィーダー系統を確保・維持することが必要であることなどを記載しております。 続いて、項目2の「目標・効果」のうち、「①公共交通の利用者数」につきましては、令和3年度のデマンドバス、シャトルバスの利用者数を現状値として設定し、それに年間の伸び率1%を乗じた値を目標値として設定しました。 「②デマンドバスの予約不成立件数」につきましては、令和3年度に混雑のため予約をお断りした1,000件を現状値として設定し、今後、予約システムの見直しや利用者登録制の導入を行い、現状値から3割減することを目標値として設定いたしました。 続いて、24ページをご覧ください。 ③「公共交通の収支率」につきましては、令和3年度のデマンドバス、

シャトルバスの収支率を現状値として設定し、利用者増による運賃収入の増加を目指しますが、人件費、燃料費、車両管理費などの運行経費の増加も想定されることから、現状より低下させないことを目標値として設定しました。

続いて、項目3「目標を達成するために行う事業及び実施主体」については、デマンドバス、シャトルバスに関するものを記載しています。これに記載のない事業につきましても、検討・協議の上、必要と判断したものを実施することとしております。

続いて、項目4「運行系統の概要及び運送予定者」につきましては、後ほど御説明いたします。

項目5「費用の総額及びその負担額」については、令和6年度予算額を総額とし、その範囲内で、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしています。

項目6「評価手法及び測定方法」については、利用者数、予約不成立件数、収支率について、評価を実施してまいります。

項目7から17までについては説明を割愛させていただきます。

続いて、26ページをご覧ください。

項目18「協議会の開催状況と主な議論」につきましては、議事(1)事業報告と重複しますので、説明を割愛させていただきます。

項目19「利用者等の意見の反映状況」につきましては、各種意識調査の結果、デマンドバスの予約方法の改善を求める声が多かったため、目標達成のための施策・事業においてもこれに重点を置いた計画といたしました。

27ページから35ページまでは、「本庄市地域公共交通計画」の該当ページの写しを添付したものでございます。

続いて、36ページの表1をご覧ください。

項目4「運行系統の概要及び運行予定者」の表となります。「計画運行回数」について、シャトルバスについては、計画運行日数に一日の往復回数13.5を掛けて算出しております。

また、デマンドバスについては、本庄北地域・本庄南地域については1時間に2回程度、児玉市街地については1時間に1回程度、児玉山間地域については、2時間に1回程度の運行を見込んで算出しておりますが、本庄北地域、児玉市街地、児玉山間地域については、これに湯かっこの開館日、スクールバスとしての見込み利用数などを加算しております。

なお、39ページのはにぼんシャトルのダイヤについては、令和4年10月に改正したダイヤにより、利用者が微増しておりますので、改正後のダイヤを記載しております。

41ページ・42ページにつきましては、「地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」を記載したものでございます。

地域内フィーダー系統における地域公共交通計画の認定申請の説明は以上となります。

続いて、別冊の「参考資料」をご覧ください。

朝日自動車様が運行する「児玉折返し場線」と「神泉総合支所線」に

	<p>つきましては、地域間幹線系統として、これまで県の協議会から国へ申請を行っておりましたが、今年度から各自治体の法定協議会において申請をすることとなりました。</p> <p>この事務連絡が5月15日にあり、6月末までに法定協議会で承認をいただき、国へ提出する必要があることから、今回の協議会にて提出をさせていただいたものです。</p> <p>事務局といたしましては、この事務連絡から本協議会の開催までの期間が短く、準備に時間を要することから、参考資料の10ページ以降に添付しております昨年度県が申請していた資料を参考に、今年度は、本市を運行する朝日自動車様に関わる箇所について、同様に作成し、地域間幹線系統における地域公共交通計画の認定申請を行いたいと考えております。この点につきまして、委員の皆さまの御理解をいただき、御承認をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>なお、地域内フィーダー系統及び地域間幹線系統の様式につきましては、今年度の様式が国から示されておられませんので、様式の変更がありましたら、それに即しまして作成し、国へ提出をさせていただきますので御了承ください。</p> <p>以上、令和7年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の認定申請（地域内フィーダー系統・地域間幹線系統）につきまして、御審議よろしくお願いいたします。</p>
議長	ただいまの事務局の説明について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。
全委員	(意見等なし)
議長	<p>質問等がございませんので、議事(3)「令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の認定申請（地域内フィーダー系統・地域間幹線系統）」について、委員の皆さまにお諮りいたします。</p> <p>議事(3)について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。</p>
全委員	(異議なし)
議長	<p>議事(3)については、異議なしと認め、原案のとおり承認されました。</p> <p>今回御承認いただきました計画を国に提出することにより、デマンドバス、シャトルバス、朝日自動車様が運行する路線バスについて、国の補助金の交付対象となる予定でございます。</p> <p>続きまして、議事(4)「今後のスケジュール及び運行にあたって協議・合意が必要な事項」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>議事(4)「今後のスケジュール及び運行にあたって協議・合意が必要な事項」について御説明いたします。</p> <p>44ページ右上に「資料4」と記載しております資料をご覧ください。</p> <p>はじめに、「今後のスケジュール」について御説明申し上げます。</p> <p>本市では、令和5年3月に「本庄市地域公共交通計画」を策定し、2年から3年の短期間に実施する事業としてデマンドバス及びシャトル</p>

バスの見直しに係る事業を位置づけてまいりました。

今年度につきましては、昨年度に協議していただいたデマンドバスのシステム導入に加え、デマンドバス及びシャトルバスの運行事業者様の選定を予定しております。本日の第1回協議会では、「運行に係る協議・合意事項」について御協議いただきます。

続いて、8月に予定しております第2回協議会では、「運行事業者様の選定方法」について御協議をいただきます。選定方法が決まり、事務局にその選定をお任せいただけましたら、市の方で運行事業者様の選定を行い、そこで決定した運行予定事業者様について、10月に予定しております第3回協議会で御報告をさせていただきます。

その後、運行事業者様には、乗合の許可申請書類の作成及び乗合許可の申請をしていただくことを予定しております。

乗合の許可申請まで済みましたら、新しい運行形態に沿った形で、本日御承認をいただきましたフィーダー系統に係る地域公共交通計画の変更について、来年1月に予定しております。第4回協議会にて御承認をいただき、国へ届出を行う予定となっております。

続いて、45ページをご覧ください。

次に、「運行にあたって協議・合意が必要な事項」について御説明申し上げます。

(1) デマンドバス・シャトルバス共通事項であります使用車両、最低車両数についてでございますが、「バス」につきましては、法律上「もっぱら常用の用に供する乗車定員11名以上の自動車」と定められています。

こちらにつきましては、地域公共交通会議等の協議に基づく場合には、11人未満の乗車定員とすることが認められております。46ページに「本庄市地域公共交通計画」のデマンドバスの乗合率及びシャトルバスの1便あたりの乗車人数に関するものを抜粋しております。

ここにありますように、デマンドバスの乗合率は、平均すると1.10人となっております。また、シャトルバスの1便あたりの乗車人数は平均すると1.13人となっていることから、11人未満の車両の導入したいと考えております。

デマンドバスの乗合率の改善につきましては、AIを活用した効率的な配車システムの導入やこの後御説明申し上げます運行エリアの見直しなどにより、乗合率を上げるための施策を実施してまいりたいと考えております。

45ページにお戻りください。

続いて、最低車両数につきましては、1営業所ごとに最低3から5両の乗用車と1両の予備車を配置することは、「運転手不足」が問題となっていることから、現行のデマンドバス、シャトルバスと同様、運行する運行事業者様の実情を踏まえ、最低1両の乗用車及び1両の予備車としたいと考えております。

使用車両、最低車両数に関する説明は以上です。

続いて、47ページをご覧ください。

デマンドバス及びシャトルバスの導入予定車両につきましては、現

	<p>行のデマンドバス、シャトルバスと同様、車椅子仕様のワゴン車を予定しています。</p> <p>続いて、48ページをご覧ください。</p> <p>運行エリアにつきましては、昨年度の協議会でシステム導入の際に、御協議いただいておりますとおり、現行の本庄北地域と本庄南地域を合わせました「本庄地域」と児玉市街地と児玉山間地域を合わせました「児玉地域」の2エリアになっております。</p> <p>また、本庄地域と児玉地域の共通乗降ポイントとしては、これまでの「ビッグマーケット」に加え、「本庄早稲田駅北口」を追加するものでございます。</p> <p>これにより、児玉駅と本庄早稲田駅がデマンドバスで繋がることになり、利便性が向上するものと考えております。</p> <p>なお、これまで「湯かっこ」から「児玉総合支所」間について、利用日の1週間前から3日前までに予約がある場合に限り運行していた「湯かっこ直通便」につきましては、効率的な運行とするため、他のお客様と同様、予約をしていただき、乗り継いでいただくことを考えております。</p> <p>続いて、49ページをご覧ください。</p> <p>デマンドバスの運行日・運行時間につきましても、昨年度の協議会でシステム導入の際に、御協議いただいておりますとおり、運行日を各エリア1台は毎日運行とし、運行時間も終わりを1時間延ばし午前8時から午後6時までとするものです。</p> <p>シャトルバスにつきましては、現行のシャトルバスと変更はなく、毎日運行で午前9時から午後7時までとするものです。</p> <p>続いて、デマンドバスの乗降地点につきましては、現行のデマンドバスの乗降地点を基本とし、路線バスへ接続できる場所、商業施設、医療施設、自治会で設置する乗降地点との距離を踏まえ、変更を考えるものとするものです。</p> <p>続いて、50ページをご覧ください。</p> <p>シャトルバスのルート、停留所につきましては、現行のシャトルバスから変更はございません。</p> <p>続いて、51ページをご覧ください。</p> <p>シャトルバスのダイヤにつきましても、令和4年10月に新幹線の発着時間に合わせた時刻表へ見直しを行っており、利用者も微増していることから、現行のシャトルバスのダイヤを使用するものです。</p> <p>「今後のスケジュール」及び「運行にあたって協議・合意が必要な事項」について説明は以上です。</p> <p>御審議よろしくお願いたします。</p>
議 長	<p>ただいまの事務局の説明について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。</p>
神宮委員	<p>49ページの運行日について、タクシー会社では、働き方改革の問題によって4月から労働時間の短縮も始まり、人材確保が難しい状況です。</p> <p>可能であれば、日曜・祝日はタクシーの利用者数も平日の30パー</p>

	<p>セント程度で病院等もお休みのため、土曜日までの運行とさせていただけたらと思います。</p> <p>また、年末年始についても、スーパー等もお休みのためそちらについても御理解いただけたらと思います。</p>
議長	<p>ただいまの御意見について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (都市計画課長)	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>運行地域につきましては、本庄地域、児玉地域に変更し、現状両者2台ずつ入っているものを運行事業者見直しの際に、4台別々に業者選定し直す形となります。</p> <p>その際に、全て365日運行というものは、働き方改革等もありますので難しいという御意見かと思えます。</p> <p>まず、そういった御意見があるのが1点、実際に現在運行している朝日自動車さんからも御意見いただきながら加味していきたいところも1点、あとは地域の要望として日曜日と祝日は走らせてほしいという要望があるということも実情として1点あります。年末年始はもっと少ないですね。</p>
神宮委員	<p>年末年始はもちろんのこと祝日も日曜日利用者はとても少ないです。申し訳ございませんが御理解していただけたらと思います。</p>
事務局 (都市計画課長)	<p>現行、月曜日から土曜日まで運行しているので、それを縮めるということは難しいと思えます。</p> <p>事務局の意見といたしましては、例えば、年末年始・祝日は運休にし、日曜日はお試しで1度運行やっていただけないか等いろいろな手法がありますので、現行の朝日自動車さんの御意見等伺えますでしょうか。</p>
田沼委員	<p>運行日につきましては、当社も運転手不足ということがありますので、現行の日数もなんとかというような状況でございます。これを毎日運行ということは現状難しいです。</p> <p>毎日運行するのであれば、運転手不足ということもありますので、中々手を挙げづらい状況なのかなと感じます。</p> <p>また、運行時間につきましても、1時間延長ということは、働き方改革と逆行してしまうので非常に手が挙げづらい状況です。</p>
事務局 (都市計画課長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>利用者側としてはそのあたりいかがでしょうか。</p>
種村委員	<p>利用者側としては、利用者も高齢化しておりまして、免許返納などもあり、そういう中でデマンドバスに頼っているような状況でございます。</p> <p>イベントやスポーツなどに通うにも、そこまで行く手段がない状況になりますので、障害者団体としても日曜日などどうにかならないかと意見がありました。</p> <p>需要と供給などのバランスもありますが、どうにか解決を図っていただけたらなと思っております。</p>
議長	<p>運行時間の延長についてはいかがでしょうか。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>運行時間延長の理由につきましては、例えば、本庄総合病院にデマンドバスを利用して通いたいという方が、午後5時までですと、デマンドバスの最終降車時間と重なってしまい、帰りの足がないといった</p>

	<p>ことがあります。</p> <p>また、デマンドバスが公共施設なども対象場所としておりますが、市役所や銀行等を利用したいお客様ですと、利用者数の増加につながるということがあります。</p> <p>午後6時までとすることによって、午後5時までの診察や手続など、又はお子様持ちの親御様が時短勤務をして習い事に連れて行っていたものを友達同士でデマンドバスを利用して通うことができ、御本人は時短勤務をせず、午後6時以降にお迎えに行けるといような使い方でもできると御意見をいただいております。</p> <p>そのため、事務局としては1時間延長にて御提案させていただいたものでございます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>御説明のとおりでございますが、従来の形式からすると4台のうち2台のバスを日曜日の運行、運行時間に関しては午後5時から午後6時までに1時間延長するという御提案でございます。</p> <p>こちらにつきまして、運行事業者様の方から年末年始・祝日や日曜日は厳しいとの御意見、また時間の延長についても御指摘をいただきました。</p> <p>それぞれの理由につきましては、先ほど御指摘いただいたとおりですが、その他の事項につきまして御意見、御指摘等はございますでしょうか。</p>
神宮委員	<p>種村委員からも御意見をいただきありがとうございました。</p> <p>その事情も分かっている中でぜひお願いをという形なのですが、何とか乗り切っていこうとは思ってはいるものの、最終的には働き方改革があるので、できれば日曜と祝日、年末年始はぜひお休みをいただけないでしょうか。よろしくお願ひいたします。</p>
種村委員	<p>認識不足で申し訳ないのですが、デマンドバスとデマンドタクシーは何か違いがあるのでしょうか。</p>
事務局 (都市計画課長)	<p>同じです。車両がワゴン車もタクシー型もあるため言い回し的なものでございますので、御認識いただけたらと思います。</p>
議長	<p>神宮委員からの御提案がありました。事務局としての御提案は、まず、祝日と年末年始も4台のうち2台は動かすというものですよね。</p>
事務局 (都市計画課長)	<p>はい。事務局からは、毎日ということは365日という提案で、現行のシャトルバスが365日の運行をしておりますので同様にいけないかという御提案でした。</p> <p>しかし、神宮委員と田沼委員がおっしゃるように44ページで御説明いたしましたように今年度中に選定するという中で、誰も手を挙げないということは、デマンドバスが運行できない状況になってしまいますので、そこは流れも含め、若干縮めるということは必要かと思ひます。</p> <p>しかし、日曜日の部分に関しましては、実際にタクシー会社様が平日の30パーセントであるのであれば、例えば、タクシーを使っただくことや、身体障害者の方でございますと、タクシー券の配布等、市の事業でもやっているものがございまして、日曜日にそちらを使用す</p>

	<p>る等そういったところは確かに考えられる部分かと存じます。</p> <p>時間的なものに関しては、先ほど担当からもお話ししたように、午後6時まではお願いしたいというところがあり、曜日につきましては運行事業者さんの御要望というものはある程度反映されつつ、どこかで実証実験的なものはやらせていただいて、今後の課題とすることも必要なのかなというところでございます。事務局からは以上です。</p>
議長	<p>ただいま事務局から御説明ありましたが、日曜日については需要的な御意見もあったとのことで、実証実験的にどうかというところでございます。</p>
田沼委員	<p>運行時間についてなのですが、単純に4台全てのバスではなく、例えば、2台は8時から17時、もう2台は9時から18時というようなスライドにすることはいかがでしょうか。</p>
議長	<p>そうしますと、各地域8時から9時までは1台、17時から18時までも1台ということになります。現状のデマンドバスの利用状況はいかがでしょうか。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>まず、利用状況について御説明させていただきます。</p> <p>昨年度利用者の方に予約のつながらなかった時間をアンケートしたことがございます。8時から予約センターの御利用が可能となっており、現状ですと8時から10時の時間帯に予約電話が集中しているというような状況でございます。</p> <p>利用者とする、なるべく午前中の早い時間帯に使用したいというところなどで需要が多く、現状8時から10時にこちらも予約が集中しているといったような現状でございます。</p>
議長	<p>午前中にニーズが集中しているということであれば、これは現実的に先ほどおっしゃられた予約したい時間に事業者さんがいないということがございます。</p> <p>こちらもまた問題になるかなと思いますので、少し難しいかなと思います。</p>
原田委員	<p>運行事業者様にお聞きしたいのですが、フレックス制度等を使用し、運転手を途中で入れ替えるということは難しいでしょうか。</p>
神宮委員	<p>労働時間の問題ですと、単純に運転手の人数的に入れ替えは難しいと思います。働き方改革によって人数的にも台数的にも難しいというところがございますので、できたら現状のとおりやっていたらというお願いでございます。</p>
議長	<p>現行の朝日自動車様はいかがでしょうか。</p>
田沼委員	<p>現行の当社の運転手ですけれども、朝から1人でやっております。人数が少ないということと高齢化もしておりますため単純に1時間増やすようなイメージになってしまいますので、本来であれば新たにおっしゃったとおり2名体制にすることができればいいのですが、そこにあてる運転手がないという現状でございます。</p>
神宮委員	<p>こういった事情もありますので、非常に申し訳ないのですが、ぜひ御理解いただけたらと思います。</p>
議長	<p>運行事業者様の意見としますと、基本的には現行の時間をお願いしたい、それ以上の時間となりますと運行できない可能性も出てくるとい</p>

	うところでございます。
事務局 (都市計画課長)	実際に、この後の事業者決定の際に全然札が入らないということがあると問題ではあるのですが、やはり先ほど担当から説明させていただいたとおり、午後6時までを求めている声というところで、田沼委員がおっしゃったように、49ページで言いますと、①③が午後6時まで、月曜日から土曜日の運行で行くというような形でいかがでしょうか。
議 長	御提案でございますが、本庄地域・児玉地域につきましては、午後6時までとするというところでございます。
事務局 (都市計画課長)	また、運行日に関しましては、仕様書の②④を実証実験のような形で日曜日をお願いしたいと思っております。
議 長	意見をまとめますので、5分程度休憩とします。
	《休憩》
議 長	先ほどの事務局からの意見をまとめましたので、再開いたします。 ①③は、資料49ページの運行日「毎日」とあるところが、現行どおり月曜日から土曜日まで、運行時間は午前8時から午後6時までとします。 ②④は、運行日「毎日」とあるところが、こちらも基本は月曜日から土曜日まで、ただし、実証実験として日曜日の運行を行うこととし、運行時間については、変わらず午前8時から午後5時までということでございます。 このような御提案でございますが、いかがでしょうか。
神宮委員	御検討いただきありがとうございます。こちらでよろしく願いいたします。朝日自動車さんも大丈夫でしょうか。
田沼委員	はい。
議 長	その他、御質問ございませんか。
全委員	(意見等なし)
議 長	質問等がございませんので、議事(4)「今後のスケジュール及び運行にあたって協議・合意が必要な事項」について、委員の皆さまにお諮りいたします。 議事(4)について、事務局の修正案で決することに御異議ございませんか。
全委員	(異議なし)
議 長	議事(4)については、異議なしと認め、事務局の修正案で承認されました。 続きまして、議事(5)「運賃協議分科会の設置に伴う本庄市交通政策協議会設置要綱の一部改正」について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (菊池主査)	《議事(5)「運賃協議分科会の設置に伴う本庄市交通政策協議会設置要綱の一部改正」》説明
議 長	ただいまの事務局の説明について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。
全委員	(意見等なし)

議長	<p>質問等がございませんので、議事（５）「運賃協議分科会の設置に伴う本庄市交通政策協議会設置要綱の一部改正」について、委員の皆さまにお諮りいたします。</p> <p>議事（５）について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。</p>
全委員	（異議なし）
議長	<p>議事（５）については、異議なしと認め、原案について例規改正の手続を事務局の方で進めさせていただきます。例規改正については、市長に権限がありますので、最終的に法制執務等の変更があることがありますので、御了承ください。</p> <p>続きまして、議事（６）「デジタル田園都市国家構想交付金の活用に伴う『本庄市ＡＩデマンドバスシステム導入支援業務 仕様書（案）』の変更」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (菊池主査)	<p>「議事（６）デジタル田園都市国家構想交付金の活用に伴う「本庄市ＡＩデマンドバスシステム導入支援業務 仕様書（案）」の変更」の説明</p>
議長	<p>ただいまの事務局の説明について、御意見等ございましたら挙手をお願いします。</p>
全委員	（意見等なし）
議長	<p>質問等がございませんので、議事（６）「デジタル田園都市国家構想交付金の活用に伴う『本庄市ＡＩデマンドバスシステム導入支援業務仕様書（案）』の変更」について、委員の皆さまにお諮りいたします。</p> <p>議事（６）について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。</p>
全委員	（異議なし）
議長	<p>議事（６）については、異議なしと認め、原案のとおり承認されました。</p> <p>続きまして、次第の７「その他」についてでございますが、本日その他として予定しているものはございません。委員の皆さまから何かございますか。</p>
原田委員	<p>議事の３について、承認を得ることによって補助金が交付されるということについてでございます。参考資料１０ページの目的・必要性、自動車が学校や施設にニーズを回るものとなっており、その後１８ページ以降に生産性向上の取組と出ておりますが、こちらが補助金導入の際の理由になっているかと思えます。この際、学生等が自由に使えるということは市の負担で行っているものなのか、補助金と関係しているものなのか御教示いただきたいです。</p>
事務局 (山田課長補佐)	<p>こちら１８ページにつきましては、運行事業様の方で努力していただいております。フリーパスについては無料というわけではなく、色々なエリアを乗れるというようなものになります。</p>
原田委員	<p>１０ページについて、インセンティブのための政策として行っていることはありますか。</p>
事務局	<p>１０ページにつきましては、埼玉県が昨年度県内の路線全てを取り</p>

(菊池主査)	まとめして国に申請している資料のため、本市に限ったものではございません。
神宮委員	別件なのですが、免許返納の方が非常に多く、免許返納者へ1割の割引などをタクシー会社が持っているのですが、こちらを市の方で持っていただけないでしょうか。
事務局 (都市計画課長)	貴重な御意見ありがとうございます。「はにぼん号」や「はにぼんシャトル」につきましては、免許返納者に対して割引を実施しております。 施策としてそういったこともしておりますので、今後そういった御提案があったということで協議を進めさせていただきます。
浅見委員	神宮委員に加えてになります。福祉介護系の行政側の方が委員にいと良いのかなと思うのですがいかがでしょうか。
事務局 (菊池主査)	御意見ありがとうございます。本庄市の交通政策協議会の委員については、国の法律に基づいて選定をしております。各所属から選出いただいておりますが、行政の高齢者福祉部門についてはおっしゃるとおりですので、今回意見としてお預かりさせていただきたいと思っております。
柳田委員	本庄市老人クラブ連合会として、以前よりデマンドバス以外にタクシーについての問題があったかと思っております。前々からお話させていただいているのですが、タクシーを利用する場合の補助はないのでしょうか。デマンドバスを利用することが難しい場合のタクシーの回数券などの話は今後協議をすることはあるのでしょうか。
事務局 (菊池主査)	御意見ありがとうございます。本庄市の交通政策協議会で作成しました「本庄市地域公共交通計画」では、施策事業としてタクシー券の配布は明記しておらず出来かねます。 しかし、デマンドバスのシステム導入や利便性を向上するにあたって副次的にタクシーの効果が向上することはあるかと思っております。
議長	柳田委員から御指摘のところですが、デマンドバスは、ある意味かなりタクシーに近いものであると思っております。 例えば、予約が取りにくい等の予約の仕方では問題があるのであれば改善したいと思っておりますし、バス停まで歩くのが大変だということがあればバス停の距離間を調整したりとタクシーと全く同じではないかもしれませんがタクシーに近い形にしていけると良いかなと思っております。 いただいた御意見を参考に、デマンドバスの利用の仕方の改善やタクシーも含めた公共交通計画もよりカバーしていければと思っております。 また、チョイソコ等についても、今回のシステム導入等で議論を進めているところでございますので、業者選定の結果次第ではございますが、進歩している状況でございます。 私からの意見としましては、今後利用促進の面についても進めたいなと思っておりますので、何卒よろしく願いいたします。 以上で、会議の全ての議事を終了させていただきます。 委員の皆さまの御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

	それでは、事務局へお返しします。
事務局 (都市計画課長)	委員の皆さまにおかれましては、本市の交通政策につきまして、引き続き御支援、御協力をお願い申し上げます。 以上をもちまして、令和6年度第1回本庄市交通政策協議会を閉会とさせていただきます。 本日はお忙しい中、出席を賜りまして、誠にありがとうございました。